



## 亀田総合病院 循環器内科のご案内

亀田総合病院は南房総、鴨川市に位置しています。地図をご覧くださいとお分かりになるように東京からほぼ100km、公共交通機関で2時間の場所です。医療圏としては安房、夷隅、君津木更津地区を含めて50万前後の人口を抱えており、その地域の基幹病院としての役割を果たしております。

亀田総合病院循環器内科には3つの特徴があります。

1つ目は循環器ジェネラリストとしての循環器総合診療を行っているところです。地域の中心的存在ですので循環器の分野すべてを網羅する必要があります。そのために虚血、不整脈、心不全、SHD、さらに心臓リハビリというさまざまな分野においてそのチームのローテーションを行いながら循環器疾患全般の研鑽を積むことができます。また総合病院である強みを生かし、循環器内科医だけでなく、心臓血管外科医、麻酔科医、画像診断医などのほか、看護師やMEなどといったコメディカル、そしてコーディネーターや事務職なども各チームに配属され多職種横断的なアプローチが可能です。

2つ目は個人のキャリアアップです。国内外の学会での発表や論文を推奨しており、また研究についても上級医師と一緒に行うことが可能です。さらに各種学会の認定施設であるため取得可能な専門医も豊富です。

3つ目は国内、海外留学が可能な点です。海外には今までに数名留学しています。またVHJ研究会(<http://www.vhj-kenkyukai.jp/index.html>)に所属しており、スタッフは北海道から沖縄まで参加施設への国内留学も可能です。

2016年から開始した大動脈弁狭窄症の方に対するTAVI(経カテーテル大動脈弁治療)は当科と心臓外科、麻酔科さらにコメディカルからなるハートチームにより行われており、大きな合併症もなく順調に件数を積み上げています。当科での研修ではTAVIの立ち合いももちろん可能です。

当院の情報につきましては、随時ホームページにアップしておりますので、ぜひご覧いただきますようお願い申し上げます。見学や、お問い合わせにも対応いたしますので、どうぞお気軽にお声がけください。

[http://www.kameda-resident.jp/senior/program/sb\\_internal11.html](http://www.kameda-resident.jp/senior/program/sb_internal11.html)

最後になりますが私たちが参加している南房総PCI研究会では毎年1月にBOSOインターベンションカンファレンスを開催しています。ご興味のある方はぜひご参加ください。



## 各チームの紹介

### 心不全チーム

心不全チームは循環器内科医、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーから構成され、当科に心不全で入院となった全ての患者さまに介入を行っています。毎週カンファレンスを行い、ガイドラインで推奨される治療やヘルスマンテナンスが行われているかどうかを全ての心不全入院患者さま毎にチェックし、結果を担当医に報告するシステムが構築されています。これにより、標準的な治療が漏れなく施されるようになっていきます。また、心不全患者さまには専用のバスが導入され、チーム内の各職種それぞれの専門性を生かした介入(服薬指導、認知・運動機能評価、うつスクリーニング、運動指導、栄養指導、生活指導、社会サービス導入の調整など)を行っています。他にも患者さまへの心不全教育にも力を入れており、心不全手帳を配布してセルフケア(血圧、体重、浮腫の記録など)の方法を学んでいたたり、心不全教室を開催して疾患の知識を学んでいたたりしています。

### ハートチーム

TAVIを行うハートチームは循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医のほか、看護師、臨床工学士、生理検査技師、放射線技師、理学療法士、薬剤師などから構成され、これらの職種をまとめるコーディネーターを中心として、毎週カンファレンスを行い、患者さまの選定や手術の検討を行っています。TAVI治療は、術前のCT画像や心エコー検査データ、心臓カテーテル検査など、患者さまの状態などをさまざまな角度から分析し、治療方針を決定することが重要です。これらの検査データを踏まえた上で、職種の垣根を越えてカンファレンスを行うことで、患者さまにより最適な治療をご提案することができます。

当院におけるTAVIの症例数は、開始初年度(2016年)22例、2017年に26例と徐々に増加傾向であり、今年は更に増える印象です。近隣の病院や開業医の先生方からご紹介いただく機会も増えており、地域医療機関の皆様のお役にたてるよう努めています。興味のある方は、まず指導のもとCT画像の計測を行っていただき、ハートチームのカンファレンスに参加することで、TAVI治療に関する理解を深めることができます。見学も随時受け付けていますのでお気軽にお声がけください。

## 基本情報

2017年実績

医師数	17名	年間入院患者数	1,878人
専門医師数	7名	平均在院日数	10.0日
病床数	46床		

## 治療・検査実績

2017年実績

[単位:例 ( )内は内訳数]

・診断カテ	874
・インターベンション総数	403
IVUS	(178)
OCT	(224)
血管内視鏡	(11)
Rotablator	(15)
DCA	(7)
・緊急カテーテル治療数	144
・カテーテルアブレーション	278
心房細動	(179)
心房粗動/心房頻拍	(46)
PSVT/WPW症候群	(35)
PVC/VT	(28)
・ペースメーカー植え込み(新規)	85
リードレスペースメーカー	(9)
・ペースメーカー植え込み(交換)	45
・ICD植え込み(新規)	17
S-ICD	(3)
・ICD植え込み(交換)	11
・CRT-P/CRT-D植え込み(新規/up grade)	17
・CRT-P/CRT-D植え込み(交換)	6
・心筋生検	20
・PTA	114
・TAVI	26

## 診療経験例

[単位:例]

Y医師(2011年卒) 実績(術者のみ)		PCI	ABL	CAG	PM
	3年目	11		100	8
日本内科学会認定内科医	4年目	44		140	20
日本周術期経食道心エコー認定医	5年目				安房地域医療センター出向
日本心血管インターベンション治療学会認定医出願	6年目	51	8	95	6

O医師(2007年卒) 実績(指導含む)		PCI	ABL	CAG	PM
日本内科学会認定内科医、総合内科専門医					
心臓リハビリテーション指導士	6年目		34		20
	7年目		67		20
	8年目		66		20
日本循環器学会専門医	9年目		75		20
日本不整脈心電学会不整脈専門医	10年目		75		20

I医師(2004年卒) 実績(指導含む)		PCI	ABL	CAG	PM	EVT	TAVI
心臓リハビリテーション指導士							
日本内科学会認定内科医							
	9年目	150					47
	10年目	180					74
日本循環器学会専門医	11年目	200					98
日本脈管学会脈管専門医	12年目	190					71
日本心血管インターベンション治療学会専門医	13年目	200					63 20

## 不整脈チーム

亀田総合病院では、専門的な不整脈治療も積極的に取り組んでいます。

心房細動、上室性頻拍に対するカテーテルアブレーションの他、心室性頻拍等の重症不整脈に対する治療も行っています。また、遠隔モニタリングにも早期から取り組んでおり、国内ではまだそれほど一般的ではない通常の恒久型ペースメーカー植え込みに対する遠隔モニタリングも行うことで、異常の早期発見や外来の効率化を図っています。新規のデバイスやツールの取り入れも比較的早いのも特徴であり、カテーテルアブレーションでは2種類の3Dマッピングシステムを使用し、デバイス治療ではリードレスペースメーカー、S-ICDなどもすでに多数の植え込み実績があります。重要なことは、虚血や心不全など複数の問題を抱える症例に対して、最善の治療が行えるよう連携をとり、チーム内では常に知識のブラッシュアップを行っています。若手の医師は一定期間チームに加わることで、最低限の知識と技術が備わると共に、不整脈治療を志す医師にとっても偏りのない内容となっているはずです。

## 虚血チーム

虚血チームは冠動脈疾患・末梢動脈疾患など主に動脈硬化疾患を対照に治療にあたっています。地域の特徴として急性心筋梗塞など重症化した心臓疾患の患者さまが遠隔地から多数搬送されてくるために虚血チームの役割は大きく、24時間体制でスタッフ一丸となって患者さまの治療に従事しています。日常の診療においては一般的な検査に加えてCTやMRI、シンチ、PETといった最先端の非侵襲的画像装置、血管内超音波(IVUS)、光干渉断層法(OCT)、血管内視鏡といった侵襲的画像装置を積極的に使用しながら、患者さまに対して適切な治療を提供すると共に動脈硬化疾患進行の機序・病態に迫る試みを行っています。地域の高齢化、透析患者の増加を反映して鴨川地区では重症多枝冠動脈疾患の患者さまが多く、慢性完全閉塞に対するPCIや、冠動脈主幹部に対するDCA(方向性アテレクトミー)、高度石灰化病変に対するロータブレーターなどを積極的に行っています。一方で心臓血管外科との連携は密接であり、日々のディスカッションを通して患者さまにとって最適な治療を提供できるよう努めています。

虚血チームでは若手の医師が積極的にカテーテル治療に参加できるよう、基礎的な技術から先端的な治療まで指導を受けるシステムがあり、早期にカテーテル技能を向上できる機会があると思います。



## 亀田メディカルセンター 交通のご案内

### ● 東京駅から

① 高速バス (アクシー号) で来院  
 所要時間：約 2 時間  
 経 路：東京駅八重洲口 → 亀田病院

② 電車 (JR 外房線特急わかしお) で来院  
 所要時間：約 2 時間  
 経 路：JR 東京駅 (京葉線ホーム) → 安房鴨川駅  
 安房鴨川駅からタクシーでおおよそ 5 分

### ● 千葉駅から

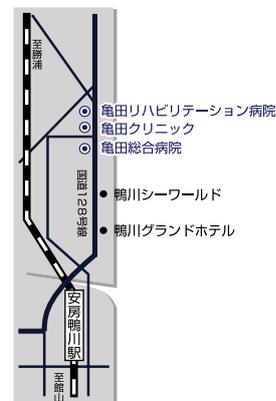
高速バス (カピーナ号) で来院  
 所要時間：約 1 時間半  
 経 路：千葉駅 → 亀田病院  
 詳しくは < 乗合千葉営業所 > Tel. 043-300-3611

### ● 羽田方面から車で来院

所要時間：約 1 時間 15 分  
 経 路：羽田方面 → アクアライン → 君津 IC → 房総スカイライン → 鴨川有料道路 → 亀田総合病院前

### ● シャトル便サービスで来院 (電話による完全予約制)

東京駅・羽田空港・成田空港からのシャトル便サービス (完全予約制・有料) がございます。  
 詳しくは ☎ 0120-203-650 8:00 ~ 17:00 (日曜・祝日、年末年始除く)



医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

<http://www.kameda.com>

〒 296-8602 千葉県鴨川市東町 929 番地

TEL 04-7092-2211 (代)